

平成26年度
(第2／3回)

(課題別研修)

持続的農村開発のための畜産振興

実施要領

平成26年7月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)
Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	6

参考資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程（暫定）

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：持続的農村開発のための畜産振興

英文：Group Training Program on “Animal Agriculture for Sustainable Rural Development”

(2) 受入期間

平成 26 年 7 月 8 日（火）～ 9 月 13 日（土）

(3) 技術研修期間

平成 26 年 7 月 14 日（月）～ 9 月 12 日（金）

(4) 受入人数、割当国

受入人数：12 名

割当国：ミャンマー、ナミビア、パキスタン(2)、南スーダン、スリランカ(2)、タンザニア、東ティモール、ウガンダ、ザンビア(2)

（下線は受入国）

(5) 研修類型：課題解決促進型

(6) 使用言語：英語

(7) 関係省庁：文部科学省

2. 案件の背景・目的

多くの途上国の農村では家畜飼養が生計の一部として組み込まれており、家畜は、乳肉の供給、農作物用の肥料、緊急時の糧として生計を支えている。畜産を振興する途上国において食料の生産性向上を図るためには、家畜生産・加工技術の向上、疾病対策の強化、インフラ整備等解決しなければならない共通な課題は多い。しかし一方で、途上国の農村では、飼料不足、不適切な家畜飼養管理、畜産物の劣悪な品質管理状況、脆弱な加工流通システム、天災の影響、経済低迷等の諸要因が複雑に絡み合っており、食料の生産性が確保されない状況にある。

本案件では、持続可能な農村開発により食料の生産性向上を図るために、各途上国において状況が異なる「畜産を取り巻く様々な環境」に対応した適切な畜産改善計画が策定されることを目的としている。

3. 案件目標

畜産振興を担う組織において、持続的農村開発のための改善計画の方向性が整理される。

4. 単元目標

- (1) バランスが取れた畜産改善計画の方向性を検討するために、農村や農業の発展の観点を取り入れ、インセプションレポートにおける分析結果が再整理される。
- (2) 問題解決・生産性向上に向けた適正レベルの家畜生産技術が整理される。
- (3) 農畜産物・副産物の適切な利用、加工、流通を通して農村生活を改善するための方策が整理される。
- (4) 北海道・十勝の農畜産業と関連産業の視察、技術研修を通して、自国への技術導入・活用の可能性が整理される。
- (5) 自国における農畜産業の持続的発展のための問題点・可能性が再確認される。

5. 研修成果品

- (1) 本邦研修実施前

「初期報告書（Inception Report）」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

- (2) 本邦研修終了時

「中間報告書（Interim Report）」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に自国の畜産振興計画（案）を作成し、コース終盤に発表する。

(3) 帰国後の事後活動

本邦研修の成果の活用

- ア. 研修員は帰国後、本邦研修で得た成果を所属組織内で報告し、関係者に対して経験・知識を共有・普及する。
- イ. 研修員の所属組織において、持続的農村開発のための畜産振興における課題と可能性についての議論を行う。

6. 研修員参加資格要件

(募集要項記載条件)

- ア. 畜産振興を担う行政機関・研究所・酪農協などの非営利組織の主任クラス、大学の講師クラス以上の者。
- イ. 畜産に関する技術開発・政策立案について3年以上の経験を有する者。
- ウ. 畜産振興に係る計画を企画・立案または提言できる立場にある者。

(各案件共通資格要件)

- エ. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- オ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- カ. TOEFL iBT 72 点 (CBT 200 点/PBT 533 点) 以上に相当する英語能力を有すること。
- キ. 心身ともに健康なこと。
- ク. 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（帯広）が計画するコースの実施に関する業務を国立大学法人帯広畜産大学に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中、研修監理員を1名配置する。具体的業務分担は次のとおり。

(1) 北海道国際センター（帯広）

- ア. 実施計画書作成（案件目標、研修期間等）
- イ. テキスト、資料等の作成（翻訳、印刷等）
- ウ. 実施予算の執行管理
- エ. 通訳・翻訳（研修監理員による対応）
- オ. 評価 等

(2) 帯広畜産大学

- ア. 日程表の調整・作成
- イ. 講師、視察先等への連絡・確認
- ウ. テキスト、資料等の取り付け
- エ. 研修員に対する技術レベルの把握及び技術的指導

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

- ア. コースリーダー等による案件目標の達成度把握
- イ. 研修員が提出する質問票による評価
- ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道（帯広）、コースリーダー、講師等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降のコース改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に北海道国際センター（帯広）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

日本の政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語研修

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 4.5 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
7 月 9 日（水）	ブリーフィング、日本語研修
7 月 10 日（木）	オリエンテーション、日本語研修
7 月 11 日（金）	日本語研修

10. 主な宿泊場所

JICA 北海道国際センター（帯広）

所在地：〒080-2470 帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上

平成26年度 持続的農村開発のための畜産振興(J1404349) 研修員関連情報

付表-1

研修員情報(英語力はリスニング/スピーキング/読解/記述の能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)					研修で学びたい項目
No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経歴	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容		
1	① Mr. Kyaw Zaw KYAW ZAWOO ② D-14-03380 ③ 34 ④ 男 ⑤ ミャンマー	① 畜産水産農村開発省 家畜繁殖獣医課 獣医官 ② 2ヶ月(当省に所属して8年) ③ 獣医大学 獣医学 ④ BBBBB ⑤ なし	① 家畜個体数調査、子防接種、治療、農家への改良普及サービス、改良普及員を対象とした研修を実施 ② 国内消費者のニーズに応えるため、家畜の健康管理の改善を通じて、家畜及び畜産食品の品質を改善する。 ・牧畜(荷肉運搬用家畜)数の拡大促進 ・家畜及び畜産食品の取引拡大促進 ・畜産関連製品の開発調査及び生物全般的に関わる生産活動の多面的研究	農村部の畜産農家を担当しているため、持続的畜産振興に興味がある。特に環境に優しい持続的アプローチで畜産を振興する手法として農村部での家畜衛生に關した高度な獣医技術を修得したい。	
2	① Ms. Theopolina NUJOMA ② D-14-03135 ③ 34 ④ 女 ⑤ ナミビア	① 農業・水資源・森林省 畜産研究局 農業技官 ② 6年 ③ チェコ生命科学大学(チェコ共和国) 動物科学 修士 ④ AAAA ⑤ なし	① 家畜改良を目的とした畜産事業の計画、管理、監督、実施 ② 本省はナミビアの繁栄を目指し、農業、水資源、森林の持続的利用と開発を関連機関と共同で推進管理している。 畜産研究局は適切な研究と革新的な開発を推進し、ナミビアの家畜資源の持続的な開発と管理を執行している。	・適切な繁殖飼育と繁殖改良のための多様なアプローチや新しい手法。(担当科では繁殖飼育を研究し、繁殖材料を農家に提供しているため。) ・家畜栄養と栄養状態の理解。(農家の家畜栄養に関する知識とその重要性の認識が低い。) ・人工授精と胚移植。(専門的な知識、技術、すぐれた家畜管理が必要であり、胚移植サービスの改良につながる。)	
3	① Mr. Abdul Latif BHUTTO ② D-14-03133 ③ 46 ④ 男 ⑤ パキスタン	① シンド州タンダ・ジャム農業大学 獣医公衆衛生学部 准教授 ② 4年 ③ リバプール大学(英国) 家畜生産・衛生学 博士 シンド州タンダ・ジャム農業大学 獣医解剖学 修士 シンド州タンダ・ジャム農業大学 畜産・獣医学 ④ AB8B ⑤ なし	① 教育と研究 ・25Km以内の地域における家畜の健康管理と改良普及サービスを提供 ② 食料の十分な確保を目的とし、持続的な農業と畜産の自給のために人材を養成し、課題解決研究を進め、ステークホルダーの効果的な連携を構築。	・持続的農村開発を目的とした技術移転と畜産農家のためのマーケティング ・家畜の選定、人工授精、バランスの取れた飼料による家畜生産の改善 ・市場ネットワークの構築と農家への啓蒙	
4	① Mr. Sher MUHAMMAD ② D-14-03130 ③ 54 ④ 男 ⑤ パキスタン	① カイバハル・バクトラ・クワクワ州畜産 畜産開発局 農業、畜産、協同組合部 部長 ② 5年 ③ プレストン大学 経営学修士(EMBA) ラホール獣医・畜産大学 家畜寄生虫・病医学 修士 ④ AAAA ⑤ 効率的な水管理(インドネシア水資源管理国際センター)畜産業の貧困の連鎖を断つための生計手段(バンクアラジシュ農村開発アカデミー)畜産管理(中国湖北省農業研修センター)	① 所属部の長として部内における全ての業務および財政に責任を負う ・畜産振興に関する政策指針を州政府に提案 ・所属部所が円滑に機能するために下部組織の活動を監督、監視、評価 ・年間及び5カ年計画を策定し実行 ・所属組織のグッドガバナンスを促進 ・大学及び研修所との連携と調整 ・民間部門及び農村開発パートナーと連携し調整 ② 生乳、食肉、卵、家畜生産及び副産物など畜産業の生産生向上を計り、農家の社会経済状況を改善し、貧困を軽減	・本研修を受ける事により、ヴィジョンを上げ、より優れた政策指針を提供し、自給自足レベルの農家の生産性向上に繋がる計画を策定できる。 ・当州の小規模農家は畜産業の93%を占めるため、この状況に則した適切な技術を修得したい。 ・農村部の農家が適用できる飼料と繁殖の技術の修得。 ・牛乳など畜産製品の適用可能なマーケティング ・農村部で共同ビジネス活動を創出し、農村経済を改善させる手法	

平成26年度 持続的農村開発のための畜産振興(J1404349) 研修員関連情報

付表-1

研修員情報(英語力はリスニング/スピーキング/読解/記述の能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)			研修で学びたい項目	
No	氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい項目
5	① Mr. Rizig Elisama LOMA	① 畜産漁業省 マリアローラ畜産研修センター 人材開発研修局 局長	① 畜産省戦略計画(2012-2016)に基づいて作成された当センターの目標や計画に沿って指導運営計画を策定、畜産改良普及員カリキュラム作成に参画し、適切な研修資料を開発。	・人口受給などの繁殖技術、栄養、生産加工(高品質の乳加工と処理)、バイオガスの発生と生産技術 ・家畜の健康と畜産物の衛生管理を総合的に推進・計画する知識と技術
	② D-14-02285	② 6年		
	③ 49	③ セイントポール総合技術大学(ケニア) 神学理論 ジュババ大学天然資源学部 畜産学		
	④ 男	④ BBBB	② 南スーダンの持続的農業開発を推進する為に効果的な研修を実施し、技術を開発し提供。	
	⑤ 南スーダン	⑤ 能力管理・市場重視教育と研修(ペラカ農業大学(ケニア)) 畜産・酪農・農業改良普及手法(エチオピアPassion Connect) 酪農・家禽指導者研修(オランダPTC)		
6	① Mr. Illangange Deshapriyavijithalal DHARMAWARDHANA	① 畜産農村開発省 次長	① 畜産と農村部振興に関連した政策策定補助 ・大中小規模畜産農家の振興事業を提案し、本省及びNLDB, LANKA乳業会社など関連組織からのサービスの提供を調整 ・州の畜産生産衛生課と畜産振興事業の実施を調整 ・国立畜産開発局、マハウェリ畜産会社、本省の関連組織の調整と監視。国立畜産開発局は3000ヘクタールに300の主要な畜産農場を持ち、乳牛、家畜、豚、山羊、羊を扱っている。 ・「DIVINEGULMA」畜産プロジェクトを通して農村部の畜産業振興と企業化支援 ・家畜飼料産業活動をモニタリング ・家畜飼料産業関連を監視し、政策支援	酪農及び養鶏農家の現況を改善するために効果的なマイクロファイナンスの他、多様なサードセクターを構築し、畜産業の振興及び農村部の経済発展に貢献できる知識を修得したい。
	② D-14-03286	② 4年	② 効果的な畜産管理と入手可能な資源を活用する事を通して畜産業と農村部の持続的発展のために適切な対策を講じる。	
	③ 51	③ グルアンデブ大学(インド) 獣医学 修士 ペラデニア大学 獣医学		
	④ 男	④ AAAA		
	⑤ スリランカ	⑤ 大型動物診療と診断(JVNA アジア獣医研修、山口大学) 家畜疾病の診断技術(JICA タイ国立畜産衛生研究所)		
7	① Mr. Mudiyanseagedara Leelananda Ratnayake RATNAYAKE	① 家畜生産衛生局 人材開発部 部長	① 畜産部門の現場スタッフの能力開発研修教育プログラムを立案 ・展示会、電子メディアや印刷物を通して技術的情報を収集・普及 ・獣医師の実務研修 ・資格取得レベルの職業訓練を計画・実施 ・畜産免許取得コースを計画・実施 ・畜産部門の将来のニーズを見越した人材開発 ・畜産部門の持続的発展を達成するための指針と技術的支援を提供し、健康的な畜産を維持し、生産性を高める事により、食の安全と確保に寄与する。	・課題分析ワークショップ ・畜産振興総合計画(繁殖改良への多様なアプローチ) ・生産性向上のための家畜管理 ・乳牛給餌管理 ・乳生産の衛生管理 ・生産物の加工と流通 ・家畜の自家生産と販売 ・熱帯性牧草の利用 ・課題と将来の見通しを探り、新しい気づきとアイデアを応用
	② D-14-03287	② 2年		
	③ 55	③ 農業大学院 農村開発と改良普及 修士 ペラデニア大学 農業改良普及学		
	④ 男	④ ABAA		
	⑤ スリランカ	⑤ 参加型管理技術(ネパールFAO) 地域に根ざした天然資源管理(インドDhan基金) 牧草開発と飼料(インド・ケララ畜産局) 国際農村総合開発(エジプト農業国際センター) 農業開発と女性(パキスタンGTZファホール) 熱帯地域の反芻家畜生産(ドイツ・ベルリン大学)		

平成26年度 持続的農村開発のための畜産振興(J1404349) 研修員関連情報

付表-1

研修員情報(英語力はリスニング/スピーキング/読解/記述の能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)					研修で学びたい項目
No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経歴	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容		
8	① Mr. Hubert Lawis Naftal LYIMO	① 畜産漁業開発省 畜産試験研修普及課 家畜飼料・環境研究開発コーディネーター	① 必要に応じて家畜研究と気候関連調査の指針と計画を立案・見直し 2. 家畜飼料原料、環境と気候変動に関する開発計画の指針と計画の立案と見直し 3. 畜産技術研修指針と計画の立案と見直し 4. 技術普及のモニタリングと実施状況を評価 5. 畜産改良普及、研究、研修の連携を計り、計画立案 ② 1. 畜産、漁業、水産養殖の生産性向上のための技術開発と普及 2. 持続的漁業、畜産・水産養殖の近代化を推進	・持続的家畜飼料の生産と給餌システム。(子牛や山羊が十分な飼料が与えられる事により疾病への抵抗力が付き、死亡率が減少し、生産性が向上するため。) その他、畜産業に従事する若者を対象とした研修プログラムの開発。	
	② D-14-02200	② 5年			
	③ 56	③ ソコイネ農業大学 飼育システム、子牛飼育、栄養生理学			
	④ 男	④ 博士			
	⑤ タンザニア	⑤ AAAA			
9	① Ms. Maria Pasocla Soares PEREIRA	① 国家畜産獣医局 畜産課 職員	① 農村部での事業活動の実施 ・会計報告書を作成 ・事業活動を監視し、報告書を作成 ・コミュニティのために研修を実施	・農家による家畜の副産物の利用技術と知識 ・家畜生産性向上に関する知識 ・家畜開発技術	
	② D-14-03128	② 9年			
	③ 49	③ ウダヤナ大学(インドネシア) 家畜生産学	② 繁殖飼養を改良し、家畜生産を増やす ・家畜の従来型繁殖飼養方法を近代的な手法に改善 ・畜産振興のための家畜開発		
	④ 女	④ BBBBB			
	⑤ 東ティモール	⑤ 食品加工フェーズII(タイ・チェンマイ大学) 小規模経営の拡充による参加型女性の経済力向上(ブトラ・マレーシア大学)			
10	① Mr. Dickson TAYEBWA	① マケレレ大学獣医動物資源防疫学部 中央検査室 臨床検査・比較医学科 外来(フィリッド)診療に関するJICAプロジェクト助手	① フィールドでの試料捕集と疾病調査 ・中央検査室での診断解析に参画 ・試料提出者に検査結果を解説 ・農場およびフィリッド訪問の調整 ・中央検査室による疾病予防プログラムに参画 ・獣医学生にセミナーやグループ討論を通して技術や知識を伝達 ② 福祉と社会経済の持続的向上を目指す。知識、技術、教育、事業、研究、サービスの提供を積極的に実施している。	・畜産技術 ・疾病予防技術 ・現地で利用可能な資源のリサイクル	
	② D-14-03330	② 1年			
	③ 26	③ マケレレ大学 獣医学			
	④ 男	④ AAAA			
	⑤ ウガンダ	⑤ なし			
11	① Ms. Thabita Mawole SHAMAILA	① 農業畜産省 国立人工授精サービス課 農業研究官	① 人工授精と乳検定の担当技術の監督 ・在来種の家畜保全のための研究 ・種の保存に関する年間報告書を作成 ・小規模農家を対象に乳牛管理研修 ・予算の編成と提出 ② 食品の安全強化促進のための畜産農家の家畜生産支援。具体的には人工授精、胚移植などの繁殖技術による家畜の品質改善。	・畜産農業の問題を軽減し、生産性を改善するための技術 ・人口受精に関する知識と技術 ・家畜生産者支援に繋がる多様な知識と技術	
	② D-14-03407	② 1年			
	③ 28	③ ナミビア大学 微生物学			
	④ 女	④ AAAB			
	⑤ ザンビア	⑤ なし			
12	① Mr. Patrick Andrish MPUNDU	① 農業畜産省 チンサリ、ムベマ農場 家畜繁殖飼養センター 畜産担当官	① 地域繁殖飼養センター(主に牛を扱っている)を管理 ・家畜繁殖計画、繁殖プログラムの準備、担当作業員の配計画と監督、家畜衛生管理、予算、調達など ② 家庭に食糧と栄養と収入を確保するための畜産部門の持続的な開発の促進と支援	・人口受精と胚移植 ・繁殖改良のための様々なアプローチと栄養 ・GIに記載されている單元1の内容に特に興味がある。	
	② D-14-03408	② 4年			
	③ 44	③ ソコイネ農業大学 畜産科学			
	④ 男	④ ABBB			
	⑤ ザンビア	⑤ なし			

コース日程 (案)

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等 (随行者もしくはサブ講師)		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
7/8 (火)			来日			
7/9 (水)	9:30 ~ 12:00	講義	ブリーフィング	西垣 美佐子	JICA北海道 (帯広)	JICA帯広 ブリーフィングルーム
	13:00 ~ 15:30	講義	ブリーフィング			
	15:00 ~ 16:00	講義	インセプションレポート発表準備についてのガイダンス	菅原 清英	JICA北海道 (帯広)	
	16:30 ~ 17:00	講義	貸出物配布			
	18:00 ~ 19:30	講義	日本語研修	和田 道子		JICA帯広 セミナー4
7/10 (木)	9:30 ~ 11:30	講義	オリエンテーション (政治・行政機構)	三野宮 功		JICA帯広 ブリーフィングルーム
	13:00 ~ 15:00	講義	オリエンテーション (教育)	時岡 裕純		
	15:15 ~ 17:15	講義	オリエンテーション (経済)	宮下 徹	JICA北海道 (帯広)	
	18:00 ~ 19:30	講義	日本語研修	和田 道子		JICA帯広 セミナー4
7/11 (金)	13:30 ~ 16:30	講義	インセプションレポート発表会リハーサル	菅原 清英	JICA北海道 (帯広)	JICA帯広 セミナー4
	18:00 ~ 19:30	講義	日本語研修	和田 道子		JICA帯広 セミナー4
7/12 (土)						
7/13 (日)						
7/14 (月)	9:15 ~ 9:45	講義	市長表敬	柏木 琴美	帯広市役所 親善交流課	帯広市役所
	10:00 ~ 12:00	講義	コースオリエンテーション	手塚雅文	帯広畜産大学 教授	帯広畜産大学大会議室
	13:00 ~ 13:30		開講式			帯広畜産大学大会議室
	13:30 ~ 16:00	発表	インセプションレポート発表会			帯広畜産大学大会議室
7/15 (火)	9:30 ~ 12:00	実習	問題分析W/S	モーガン 麻衣子	アイシーネット	JICA帯広 オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:00	実習				
7/16 (水)	9:30 ~ 12:00	実習	問題分析W/S	モーガン 麻衣子	アイシーネット	JICA帯広 オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:00	実習				
7/17 (木)	9:00 ~ 12:00	講義	世界情勢と地域農業	仙北谷康	帯広畜産大学・准教授	帯広畜産大学1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	講義	持続的農村開発と畜産の役割1	仙北谷康	帯広畜産大学・准教授	帯広畜産大学1号館E2501室
7/18 (金)	9:30 ~ 12:00	実習	問題分析W/S	手塚雅文/小崎浩	帯広畜産大学・教授	JICA帯広 オリエンテーションルーム
	13:00 ~ 16:00	実習				
7/19 (土)						
7/20 (日)						
7/21 (月)						
7/22 (火)	9:00 ~ 12:00	講義	日本の農畜産業: 過去、現在、未来	耕野 拓一	帯広畜産大学	帯広畜産大学1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	講義	持続的農村開発と畜産の役割2	手塚雅文	帯広畜産大学・教授	帯広畜産大学1号館E2501室
7/23 (水)	9:00 ~ 12:00	講義	総合的な酪農振興計画	手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
	13:00 ~ 16:00	講義	適正品種とは	手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
7/24 (木)	9:00 ~ 12:00	講義	生産性向上のための家畜管理	瀬尾哲也	帯広畜産大学	帯広畜産大学1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	講義	改良のための人工授精・ET	明見好信	北海道ジェネティクス	帯広畜産大学1号館E2501室
7/25 (金)	9:00 ~ 12:00	講義	受精卵移植サービス	松崎重範	とかち繁殖技術研究所	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
	9:00 ~ 12:00	講義	人工授精ネットワーク	吉奥 勉	家畜改良センター熊本牧場	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
7/26 (土)						
7/27 (日)						
7/28 (月)	9:00 ~ 12:00	講義	乳牛の栄養状態の把握 (BCS)	木田克弥	帯広畜産大学	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
	13:00 ~ 16:00	実習	牛乳生産の衛生管理とミルクー搾乳	木田克弥	帯広畜産大学	帯広畜産大学かわしわ プラザ2階マルチR2
7/29 (火)	9:00 ~ 12:00	講義	家畜の栄養 (途上国における諸問題)	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	家畜の栄養 (途上国における諸問題)	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学1号館E2501室

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等 (随行者もしくはサブ講師)		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
7/30 (水)	9:00 ~ 12:00	講義	品種改良への様々なアプローチ (後代検定と群検定)	鈴木三義	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	牛乳の健康に及ぼす飼料と管理の影響	木田克弥	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
7/31 (木)	9:00 ~ 12:00	実習	糞尿の活用法	岸本正	帯広畜産大学	帯広畜産大学かしわ プラザ2階マルチR2
	14:00 ~ 16:00	見学	堆肥の作り方	(引率) 岸本正	家畜改良センター十勝牧場 堆肥施設 (山内健治様)	家畜改良センター十 勝牧場
8/1 (金)	9:00 ~ 12:00	講義	バイオガス-小規模プラント、ジェネレー ターの活用、途上国の事例にふれて-	梅津一孝	帯広畜産大学	帯広畜産大学かしわ プラザ2階マルチR2
	13:00 ~ 16:00	見学	鹿追町環境保全センター	(引率) 梅津一孝	鹿追町環境保全センター	鹿追町環境保全セン ター
8/2 (土)						
8/3 (日)						
8/4 (月)	9:00 ~ 12:00	講義	インテリムレポート作成指導	手塚雅文/小崎浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	講義	インテリムレポート作成指導	手塚雅文/小崎浩	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/5 (火)	9:00 ~ 12:00	実習	暖地型牧草の利用	川本康博	琉球大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	暖地型牧草の利用	川本康博	琉球大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/6 (水)	9:00 ~ 12:00	講義	何が生産性を低下させるか?繁殖管理の 問題点	手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	見学	繁殖効率を向上するためには(発情発 見、人工授精の留意点)	松井基純	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/7 (木)	9:00 ~ 12:00	講義	生態系・環境との共存	門平睦代	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	伝染病と疫学	門平睦代	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/8 (金)	9:00 ~ 12:00	講義	口蹄疫対策	高橋良平	十勝動物健康リサーチ	帯広畜産大学かしわ プラザ2階マルチR2
	13:00 ~ 16:00	実習	口蹄疫対策	高橋良平	十勝動物健康リサーチ	帯広畜産大学かしわ プラザ2階マルチR2
8/9 (土)						
8/10 (日)						
8/11 (月)	9:00 ~ 12:00	講義	牛乳の飼養管理コンサルタント	武中慎治	メイプルズクレストコンサル ティングサービス	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	見学	農家視察(大正、幕別)	武中慎治	メイプルズクレストコンサル ティングサービス	農家視察
8/12 (火)	9:00 ~ 12:00	講義	サイレージの調製と飼料給与法	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	サイレージの調製と飼料給与法	西田 武弘	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/13 (水)	9:00 ~ 12:00	講義	副産物の利用	花田正明	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習	副産物の利用	花田正明	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
8/14 (木)	9:00 ~ 12:00	講義	草地酪農	花田正明		帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	見学	放牧農家訪問	花田正明	あすなるファーム	あすなるファーム
8/15 (金)	9:00 ~ 12:00	実習	到達目標に関するディスカッション	手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2503室
	13:00 ~ 16:00	実習	到達目標に関するディスカッション	手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2503室
8/16 (土)						
8/17 (日)						
8/18 (月)	9:00 ~ 12:00	講義	牛乳の品質管理(集乳から製品まで)	西部潤	十勝農協連畜産検査センター	十勝農協連畜産検査 センター
	13:00 ~ 16:00	見学	牛乳の品質管理(集乳から製品まで)	西部潤	十勝農協連畜産検査センター	十勝農協連畜産検査 センター
8/19 (火)	9:00 ~ 12:00	講義	農協の組織と機能	仙北谷康	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4
	14:00 ~ 17:00	見学	士幌農協記念館視察と施設見学	西田康一	士幌農協 畜産部長	士幌農協記念館
8/20 (水)	9:00 ~ 12:00	講義	牛乳・乳製品の流通-集乳・加工・流通	仙北谷康	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4
	13:30 ~ 15:30	見学	牛乳・乳製品の流通-集乳・加工・流通	小西 (Mr.)	よつ葉十勝主管工場	よつ葉十勝主管工場
8/21 (木)	9:00 ~ 12:00	講義	家畜共済制度と機能	耕野拓一	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4
	13:00 ~ 16:00	見学	家畜共済制度と機能	杉山仁志 (NOSAI)	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4
8/22 (金)	9:00 ~ 12:00	講義	国際協力	小崎浩	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4
	13:00 ~ 16:00	講義	プレゼンテーション	デビッド キャンベル	帯広畜産大学	JICA帯広 セミナー4

日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学先担当者等 (随行者もしくはサブ講師)		研修場所
				氏名	所属先及び職位	
8/23 (土)						
8/24 (日)						
8/25 (月)	9:00 ~ 12:00	出発		瀬尾	(日程、目的地は今後協議)	
	13:00 ~ 16:00	十勝千年の森 (ヤギ畜舎、チーズ工房を中心に)		瀧川隆博	十勝千年の森	
8/26 (火)	9:00 ~ 12:00	北海道開拓歴史館				
	13:00 ~ 16:00	酪農学園大学				
8/27 (水)	9:00 ~ 12:00	雪印メグミルク酪農と乳の歴史館				
	13:00 ~ 16:00	久保牧場				
8/28 (木)	9:00 ~ 12:00					
		移動 (札幌→帯広)				
8/29 (金)	9:30 ~ 12:00	学校訪問 (Aグループ)				
	10:00 ~ 13:00	学校訪問 (Bグループ)				
8/30 (土)						
8/31 (日)						
9/1 (月)	9:00 ~ 12:00	講義 村落レベルでの普及活動		門平睦代	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	実習 村落レベルでの普及活動		門平睦代	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
9/2 (火)	9:00 ~ 12:00	講義 フードバレーとから				
	13:00 ~ 16:00	実習 立命館大学とのセッション (予定)				
9/3 (水)	9:00 ~ 12:00	見学 見学 (予定)				
	13:00 ~ 16:00	見学 加藤牧場、十勝ミルク (予定)			http://katofarm.net/	
9/4 (木)	9:00 ~ 12:00	見学 さらべつチーズ工房				
	14:00 ~ 15:30	見学 共働学舎新得農場			http://www.kyodogakusha.org/index.html	
9/5 (金)	9:00 ~ 12:00	講義 到達目標に関するディスカッション		仙北谷康	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2503室
	13:00 ~ 16:00	講義 到達目標に関するディスカッション		仙北谷康	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2503室
9/6 (土)						
9/7 (日)						
9/8 (月)	9:00 ~ 12:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
9/9 (火)	9:00 ~ 12:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
9/10 (水)	9:00 ~ 12:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
9/11 (木)	9:00 ~ 12:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
	13:00 ~ 16:00	インテリムレポート作成指導		手塚雅文	帯広畜産大学	帯広畜産大学 1号館E2501室
9/12 (金)	9:00 ~ 11:30	インテリムレポート発表会				帯広畜産大学 大会議室
	11:45 ~ 12:15	閉講式				帯広畜産大学 大会議室
	12:30 ~ 13:30	閉講パーティ				かじわフック コンベンションルーム
9/13 (土)			帰国			

年度別受入実績表

1. 応募／選定（受入）人数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	累計
応募数	13名	19名	19名	22名	73名
受入数	12名	12名	10名	12名	46名

2. 国別受入人数

○男性 ●女性

国名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	累計
(アジア全域)					
ミャンマー	○	○	○	○	4名
インドネシア	○	○			2名
タイ	○	○			2名
ネパール	○○	○○			4名
パキスタン	○	○	○○	○○	6名
スリランカ			●○	○○	4名
東ティモール			●	●	2名
(アフリカ地域)					
マラウイ	○○○	●○			5名
ザンビア	○	○	●○	●○	6名
ジンバブエ	○	○			2名
ナミビア			●	●	2名
ウガンダ			○	○	2名
南スーダン				○	1名
タンザニア				○	1名
(北米/中南米地域)					
ウルグアイ	○				1名
パラグアイ		●○			2名
合計	9カ国 12名	9カ国 12名	7カ国 10名	9カ国 12名	16カ国 46名



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター（帯広）

〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2

TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250

ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/

メール : jicaobic@jica.go.jp